

平成 17 年度
第 5 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：2006 年 2 月 3 日（金） 16:00～
2. 場 所：天神重松ビル 7 F 702 号室
3. 出席者：井上，中村，天本，梶田，梶原，黒木，管，辰巳，玉田，堤，外井，樋口，吉田，坂井

4. 議 事：

1. 前回議事録確認
2. 支部ニュースの状況報告
3. 新規研究会募集について
4. 支部長賞について
5. 支部活動に関するアンケート結果について
6. 後援依頼について
7. 国際委員会ニュースレターについて
8. シンポジウム企画について
9. 理事会報告
10. 今後のスケジュール
11. その他

5. 議事内容：

- (1) 支部ニュースの状況報告（梶田幹事）
 - ・ 支部ニュースは現在印刷中であり、2月上旬発送予定。
 - ・ 発送時に九州経済白書の案内チラシを同封する。

- (2) 新規研究会募集（外井幹事）
 - ・ 分科会（A）、（B）に各 1 件の応募があり、外井幹事を委員長とする審査委員会で審議の結果、両件ともに採用とした。
 - ・ 上記内容について報告があり、幹事会として了承した。
 - （A）九州地域の交通路と観光・地域活性化の連携に関する調査・研究分科会
代表者：出口近士 宮崎大学助教授
 - （B）都市政策に関する地方分科研究会
代表者：吉武哲信 宮崎大学助教授

- (3) 支部長賞について（梶田幹事）
 - ・ 例年通り、高専・短大・工学学部生を対象に表彰する。推薦依頼を発送し、3月1日募集締め切り、卒業式に表彰状手渡しスケジュールを進めることを確認した。

- (4) 支部活動に関するアンケート結果（梶田幹事）

- ・支部会員 307 名に調査票を配布した結果、17.9%の 55 名から回答があり、その概要について報告があった。
- ・今後、このデータをベースに属性別など各種視点から検討を加えていくことを確認した。

(5) 後援依頼について (辰巳幹事)

- ・九州産業大学大学院学術フロンティア景観研究センターシンポジウムの後援依頼について審議。
- ・内容について辰巳幹事より説明があり、支部として後援することを決定した。

(6) 国際委員会ニュースレターについて (辰巳幹事)

- ・本年夏締め切りの国際委員会ニュースレターについて審議。
- ・内容について辰巳幹事より説明があり、「九州から発信するテーマとして考えられるもの」について意見交換した。
 - ・景観 ・観光 ・九州新幹線 ・中心市街地問題 ・公共交通の衰退
 - ・E T C ・自動車産業の九州への進出 ・コミュニティバス
 - ・さるく博 ・シーニックバイウェイ 等
- ・辰巳幹事をヘッドにテーマを絞り、次回幹事会で再度審議することとした。

(7) シンポジウム企画について (梶原幹事)

- ・梶原幹事よりシンポの概要について説明があった。
- ・内容について審議した結果、以下の点を確認した。

○都市計画学会九州支部シンポジウム

- ・日時：3月16日(木) 14:00～19:00

14:00～15:00	基調講演
15:10～16:30	パネルディスカッション
17:00～19:00	懇親会

- ・場所：九州大学西新プラザ (100名程度)
- ・プログラム：

(基調講演)

「都市計画広域調整の内容と自治体の役割」

福岡県都市計画課長 吉田信博

(パネルディスカッション)

コーディネーター：梶原文男 (大分県)

パネラー：吉田信博 (福岡県都市計画課長)
 吉武哲信 (宮崎大学工学部助教授)
 玉田孝二 (都市環境研究所所長)
 熊本関連 (選考中)

- ・今後検討すべき課題は以下のとおりである。
 - ・パネラーの選定 (中村幹事担当)
 - ・広報活動 (事務局)
 - ・会場準備 (事務局)

- ・進行シナリオ作成（梶原、天本幹事）
- ・その他（事務局）

（８）理事会報告

- ・井上支部長より1月27日開催の理事会についての報告があった（議事録参照）。

（９）その他

①事務局移設について（外井幹事）

- ・外井幹事より、現在九州大学に置いている事務局を他に移設する件についての検討要請があった。
（理由）・新たな活動の展開可能性
・一般会員へのアピール
- ・前述の支部アンケート結果にも配慮して検討の場を設け、今後検討することを決定した。

②役員任期の延長（井上支部長）

- ・現在、支部役員任期は1年となっているが、短かすぎるため本部にあわせて2年としてはどうかという提案があった。今後検討を行う旨を決定した。

③評議委員の改選について（井上支部長）

- ・現委員の延長を基本線で今後検討していくことを確認した。